

D問題 問1

65歳の男性。震災により倒壊した家屋の下敷きとなっていたが、通りかかった救急隊を家族が呼び止めた。

救急隊到着時観察所見：意識 JCS2。呼吸数 36/分。脈拍 128/分、不整。血圧 84/56mmHg。SpO₂ 値 97%。

倒壊から3時間経過しているが救出にはまだ時間を要する見込みである。なお、これは応援救急隊として被災地に出動して遭遇した事案であり、電話回線は不通となっている。

応援救急隊の活動について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 現地の救急隊に連絡して傷病者対応を引き継ぐ。
2. 特定行為を行う場合は現地のMC医師の指示の下で行う。
3. 医師と連絡がつかなければ特定行為の実施は断念する。
4. この救急活動記録は現地の消防本部に提出する。
5. 応援救急隊による救急出動件数は現地の消防本部に計上される。

○採点上の取扱い

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

○理由

難易度が高く正解を導くのが困難なため。